



SSKP つくしんぼの会報誌

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

1997年2月号
(No. 8)

編集～リースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 0427(96)8468

父親の会 のよう なもの

う。父親
同志で語
り合う機
会が今ま

男はだまって……
2月1日(土)に行われた「豆
まき&おでんパーティー」の夜、
後片づけはお母さん達に任せ、
この日のイベントに無理やり引つ
張り出された感じのお父さん達
はつくしんぼの近所にある居酒屋
屋へと繰り出しました。
実はこの男だけの飲み会、父
親達の自主的なものではなく、
お母さん達によって仕組まれた
ものでした。
「ウチのお父さん無口だし、恥
ずかしがり屋だし、よそのお父
さんと共通の話題もないだろう
し、きつとお通夜みたいな飲み
会になっちゃうわよお」お母さ
ん達はそう言って笑っていたの
ですが……。

父親の会って？

町田市内には沢山の障害児
者のための施設や学校等があ
ります。でも、その中に「父
親の会」は一体いくつあるの
でしょうか？ 噂では、皆無
に等しいと聞きました。ちょっ
と淋しい話ですね。

先日、某地域の「おやじの
会」のミーティングに特別参
加させて頂いてきました。

そこでは、父親達が子ども
達を連れ、大島旅行までして
いるとのこと。もちろん母親
なんか連れて行かない。勝手に
にレスパイトでもさせておき、
父親達だけで一切の子ども達
の世話をすること。

羨ましい、と思いました。
でも、要するに、父親達だけ
でもやろうと思えば出来るよ
うなことが、そこでは証明さ
れているわけです。

酒は涙かため息か……

ほんと、ささやかな飲み会
でした。でも父親同志、お互
いの思いを確認し合うことの
出来た有意義な会でした。
「こういう飲み会をまたやり

みずの圭さんがいらっしやいました!!

鬼のお面作りをしてい
た絵画造形の日、我がつ
くしんぼに「ママがんばっ
て」でお馴染みの漫画家
みずの圭さんと雑誌『ウィ
ル』の編集の方々がいらっ
しやいました。
『ウィル』は障害者の
バリアフリーを応援する
季刊の生活情報誌で、そ
の雑誌の中にみずのさん
が「みずの圭のフレンド
パーク」というページを
担当されており、その取
材のためにわざわざいら
して下さいました。

「活動を始めたいけど、
集まれる場所が見つから
ないお母さん達が多い中、
つくしんぼのように活動
の拠点を持っているグルー
プはとっても羨ましいで
すね……」みずのさんに
そうおっしゃって頂き、
つくしんぼのお母さん達
は何だかとても嬉しく
なっていました。
『ウィル』の次号の発
行日が今から待ち遠しい
私達です。

絵画造形教室に 参加なさいませんか？

つくしんぼでは、毎週木曜
日の午後三時～五時に、高尾
真理子先生による絵画造形教
室が開かれています。
絵を描いたり、粘土工作を
したり、クリスマスリースや
お正月飾りや鬼のお面を作っ
たり、とっても楽しいひと時

ましよう!!」そう意気投合し
て、お父さん達はそれぞれ見
飽きた顔のお母さん達の待つ
(別に待ってもいけないかな……)
家へと帰って行ったのでした。
「父親の会」スタートの第一
歩はまあ、こんなもんでいい
のかな、と思っっています。

♪♪♪つくしんぼ日記♪♪♪

1月30日(木) 天気 晴れ

この日の絵画造形教室で、子ども達は鬼の
おめんを作りました。もちろん、節分の豆ま
き用のおめんです。

赤鬼と青鬼はもちろん、緑鬼、ピンク鬼、
オレンジ鬼まで次々と完成し、そいやもうかう
つり、ミラクル、ビュ～ティフル!!

髪の毛は毛糸を貼って作ったし、ちゃんと
立体的な耳もつけたし、あとは豆まきの目を
待つだけ……。

このおめんをかぶって鬼の役を演ずるのは、
お父さん達の役目と既に決まっています。

鬼に向かって思い切り豆を投げつけるのは、
子ども達ではなく、日頃ウツブンだらけのお
母さん達じゃないのかな～?

そうなると、本当の鬼は一体
誰なんだろう???



ちゃっかりサインまで貰ってしまっ
てる、お調子者のつくしんぼの
お母さん達です、はひ。



です。一回分の参加費は、材料
費+おやつ代で百五十円です。
高尾先生のご好意により、
つくしんぼの子ども達に限りら
ずどなたでもどうぞということ
になりました。参加希望の方は
つくしんぼまでご連絡下さい。

賛助会ご入会

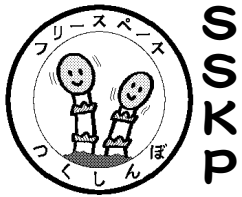
ありがとうございます
井藤様、竹内様、奥平様、新美
様、星野様

ご寄付&ボランティア

ありがとうございます
高尾様、藤本様、TEES様、
近藤様、湯川様、土屋様、越川
様、(株)千葉電設様

【おわび】

前号に記載した賛助会ご入
会の方々の中から土屋様、清水
様のお名前が抜けておりました。
私共の不手際で迷惑をおかけ
し、申し訳ありませんでした。



つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

つくしんぼの活動は、月曜日から土曜日までの午後1時から5時までです。



小さい声で……

田原 恵美

かわいい、かわいい？ 一人息子の瞬は特殊学級に通う5年生です。

自閉症と言っても千差万別、いろいろと個性がありますが、瞬の場合は喋るうるさいタイプです。もちろん一方的に言いたいことを言ってるんですけど……。

看板やポスターを大声で読み、誰か泣いていれば「赤ちゃん泣いてるねえ」と言い、猫が通れば「猫が走って行ったよ」と見たもの何でも口にします。

電車の中で突然歌い出すので、親は他人

のふりです。

「小さい声で喋って」と言っても10秒と持ちません。

学校や家での日常会話には困りませんが、知らない人に話しかけられると、黙ってしまうか「わかんない」と逃げて行きます。余計な時は喋るのに肝心な時は言わないで……と親はがっかりです。

2才過ぎまで言葉が出ないと心配し、オウム返しの日々を経て、3才で初めて「ママ」と読んでくれた感動(?)を忘れ、今では「静かにして!!」が口癖になってしまったダメな母です。

『つくしんぼ』は、障害児はもちろん、その兄弟、近所の健常児などが遊びに来てくれます。人と遊ぶのが苦手な瞬にとって、それはとても良い刺激になっているようです。最初はただ追いかけていたのが、いつのまにか自分からあとにくっついて遊ぶようになったのです。

兄弟がいないので、家では大人だけの生活です。瞬には『つくしんぼ』が貴重な体験のできる場所なのです。

親同志の輪を広げるためにも、同じ学校だけでなく、いろんな子どもたちを知り、たくさんの仲間に出会える場所として役立っています。

資金作りのためにバザーや模擬店、内職と親たちは頑張っています。「たいへんだなあ……」と思う時もあります。

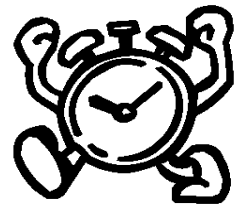
でも、応援して下さる地域の方や、ボランティアの皆さんの協力がだんだんと大きな力になり、支えてくれています。

一人だとかじけそうでも、大勢の力があれば何とかなります。

みんなに可愛がってもらい、愛される『つくしんぼ』になることを願っています。

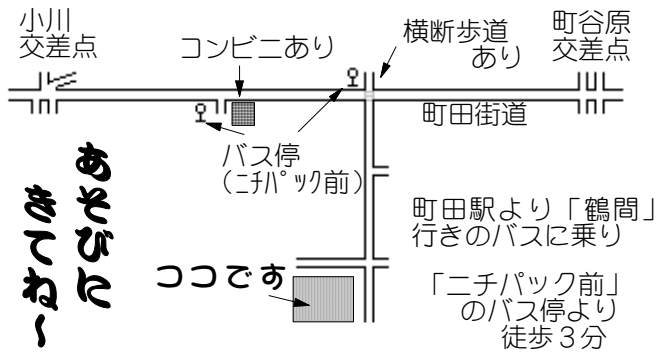
瞬も2月で11才になります。また、さらに問題が出てくることでしょう。

それを一つずつ乗り越え『つくしんぼ』と共に成長していけたらと思います。



「うるさ〜ゆ!!」

つくしんぼの地図



田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分です

フリースペースつくしんぼ

第2回ガレージセールが開催されます!!

きたる3月16日(日)午前10時~午後3時、フリースペースつくしんぼにおいて、2回目のガレージセールを行う運びとなりました。

ガレージセールと名乗るぐらいですから、当然出店希望者を広くひろく募集中です。ご連絡はつくしんぼ(96-8468)、あるいはつくしんぼ代表の山下(95-3725)までお願い致します。

また、**ご不要な品物**がありましたら、ぜひつくしんぼへのご寄付をお願い致します。加えて、当日に**ボランティア**を引き受けて下さる方もご連絡頂けたら幸いです。

つくしんぼでは、現在借りている土地の固定資産税分のお金(約50万円)を是が非でも捻出しなければなりません。補助金がない上に活動費以外の資金を作らなければならない苦しい台所を、皆様に察して頂けたら幸いです。よろしく願い申し上げます。

フリースペースつくしんぼ 賛助会へご入会をお願い

私たちは、ハンディを持つ子ども達の地域としての放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを今年五月に開所しました。しかしながら、公的補助を受けていないつくしんぼの運営状況は、極めて厳しい状態にあるのが現実です。そこで、皆様にお願いがございまして、本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが、「フリースペースつくしんぼ賛助会」にご入会して頂けませんでしょうか。

私たちは、ハンディを持つ子ども達の地域としての放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを今年五月に開所しました。しかしながら、公的補助を受けていないつくしんぼの運営状況は、極めて厳しい状態にあるのが現実です。そこで、皆様にお願いがございまして、本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが、「フリースペースつくしんぼ賛助会」にご入会して頂けませんでしょうか。

編集後記

前号の記事の内容に関して、多くの方々から様々な反響を頂きました。

「あそこまで書いて平気なの?」「それこそ補助金が永遠に貰えなくなっちゃうんじゃないの?」等々、皆様を不安にさせてしまい、申し訳ありませんでした。実は、後悔はしてたんです。でも既に1000枚の通信の印刷を終えてしまっていたこと。それを廃棄処分にするのは、お金のないつくしんぼとしてどうしても

出来なかった、等の理由から、「え〜い〜気に配ってしまえ!!」ということになりました……。

ま、後悔してても始まりません。つくしんぼは、しっかり前を見て一歩ずつ進んでいきます。

当面の目標は、つくしんぼで借りている土地の固定資産税を稼ぐこと。払えないとつくしんぼは活動拠点を失ってしまいます。

そのために**バザー**をやります。今は他に方法がないんです。皆様のご協力をぜひお願い致します。

発行所 東京都世田谷区砧6丁目26番21号 身体障害者団体定期刊行 協会の定価50円

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ